

グリーンプラン・パートナーシップ事業(2号事業) 概要説明

1. 事業概要			
実施主体	小山町	実施場所	静岡県駿東郡小山町
共同実施者	—	推薦者	—

2. 事業内容	
事業名称	小山町における地域主導による再生可能エネルギー等事業化計画策定・FS調査事業
検討対象設備等	地中熱、新エネ、省エネ

26年度補助金交付希望額	9,990,000円
--------------	------------

<p>事業内容</p> <p>1 地中熱活用FS調査 ・湯船原地区の誘致する工場、園芸施設等や、本庁舎、道の駅ふじおやま、あしがら温泉施設等の公共施設への地中熱の活用を検討する。 ・未活用の再生可能エネルギーを積極的に活用し、温室効果ガスの削減を推進する。 ・既存井戸の活用や新規井戸の掘削、熱交換システム(ヒートポンプ、各施設への配管設備)の計画を検討する。 ・特に湯船原地区においては、平成30年整備目標に検討を進めている熱電併給の木質バイオマス発電とのハイブリッド型で取り組むことを検討する。</p> <p>2 新省エネルギーFS調査 ・町内の公共施設、工業団地を始めとした民間施設等では、様々な省エネルギー化が図れる。 ・省エネルギーを、官民連携、町一体となり推進し、温室効果ガスを削減していくために、主要公共施設をモデルとして、省エネルギーを推進するFS調査を行う。 ・各施設に、太陽光発電や太陽熱利用などの導入可能な新エネルギーの検討も行う。</p>	<p>The diagram illustrates the energy strategy for Oyamashi. It features a central '小山町' (Oyamashi) box. To the left, '足柄SA周辺地区' (Ashino SA area) and '湯船原エリア' (Yubunhara area) are highlighted. '足柄SA周辺地区' includes 'スポーツ・健康で創る着地型観光を促進する拠点' (base for promoting tourism). '湯船原エリア' includes '木質バイオマスを中心とした工業団地を形成、持続可能な分散型地産づくりを実現。' (forming industrial parks centered on wood biomass), '食品加工・生産エリア(13工場)' (food processing/production area with 13 factories), 'アグリインダストリーエリア' (agri-industry area), 'ロジスティックターミナル' (logistics terminal), and '林業エリア(原木運送センターの整備など)' (forestry area including log transport center). Energy flows from these areas to '新エネ' (New Energy) and '省エネ' (Energy Saving). '新エネ' leads to 'CO2削減' (CO2 reduction) and '地中熱' (Geothermal). '省エネ' leads to 'CO2削減' (CO2 reduction) and '地中熱' (Geothermal). '地中熱' is used for '主要公共施設' (Main Public Facilities) including '本庁舎' (Main Office), '道の駅ふじおやま' (Michinoeki Fuji Oyama), and 'あしがら温泉施設' (Ashigara Onsen). '地中熱' is also used for '工業団地(ハイテクパーク富士小山、富士小山工業団地等)、その他工場' (Industrial Park (Hi-Tech Park Fuji Oyama, Fuji Oyama Industrial Park, etc.), other factories). A legend at the top right shows '地域外' (Region Outside) with '企業' (Company) and '観光客' (Tourist) leading to '誘致' (Attraction) and '地域活性化' (Local Revitalization), and '対策' (Countermeasure). A volcano icon is also present.</p>
---	--

3. 設備導入予定等	
設備導入予定	官民連携、町一体となり推進し温室効果ガスを削減していくために、まずは主要公共施設をモデルとして、再生可能エネルギーの活用と省エネルギー化を推進し、町内の既存工業団地や工場群、農業施設等へ拡大を図る。
副次的効果	環境保全型地域のイメージを定着させ、農作物のブランド化などにつなげることで、観光客の入込数の増加が期待できる。温室効果ガス削減メリットと町の環境イメージを打ち出し、効果的に企業誘致を進める。